

令和3年11月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 工 藤 知 彦

フロンティア秋田 山 崎 宗 雄

市民クラブ 安 井 誠 悦

公 明 党 石 塚 秀 博

共 産 党 佐 藤 純 子

そ う せ い 小 松 健

秋 水 会 菅 原 琢 哉

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄



1 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 現時点において、市長が思い描く同地区のまちづくりについての考えはどうか
- (2) 同地区のまちづくりと卸売市場の再整備については、どのようにして整合性を図るのか

2 令和4年度当初予算及び新規財源の確保等について

- (1) 令和4年度予算編成方針では、一般財源ベースで今年度よりも歳入は約20億円の減と見込んでいる反面、歳出は創生戦略事業に予算を優先的に確保する必要があるとして約47億円を見込んでいるが、各種市民サービスは維持することができるのか
- (2) これまで以上に新規財源の確保が重要となるが、令和4年度以降における新規財源確保の見通しはどうか、また、ふるさと納税について、現在の寄附状況と今後の見通しはどうか
- (3) アフターコロナにおける市内経済の回復のため、経済対策に早急に取り組むべきと考えるがどうか

3 コロナ禍における各種支援等について

- (1) 原油価格の高騰に伴い、公共交通と位置づけられたタクシー事業者に対して燃料費の助成を行う考えはないのか
- (2) 昨年度実施された16歳未満へのインフルエンザ予防接種の費用助成を、今年度は実施しなかった理由は何か、また、来年度以降、接種の費用助成を行う考えはないのか

4 今冬の除排雪の取組について

- (1) 吹きだまりへの対応について
  - ア 急な暴風雪等によって局所的に吹きだまりが発生した場合など、緊急時における除排雪の実施に当たっては、除排雪業者にある程度

の権限を与えてはどうか

イ 市として、防雪柵の有効性をどのように考えているのか、また、その設置基準はあるのか

ウ 吹きだまりが多発する箇所に、防雪柵を設置する考えはないのか

(2) 除排雪業者への補償について

ア 待機補償制度の補償内容は、具体的にどのようなものか

イ 暖冬などにより稼働がない場合においても、除排雪機械及びオペレーター等の維持のため、除排雪業者に対してさらに補償すべきと考えるがどうか

5 本市の観光振興について

(1) クルーズ船の受入れ再開に当たり、寄港の誘致活動や新型コロナウイルスの感染予防対策について、県や秋田商工会議所等の関係団体とどのように連携していくのか

(2) クルーズ船で訪れた団体観光客に向けた、本市独自の観光ルートを考えてはどうか

6 橋梁の点検の在り方等について

(1) 秋田市橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁点検の結果及びその対応について

ア 平成30年度末までに実施された橋梁点検の結果、健全度の判定区分が早期措置段階であるⅢ、または緊急措置段階であるⅣと診断された橋梁はそれぞれ何橋あったのか、また、その後の対応状況はどうか

(2) 5年に1度の定期点検のみで、市内全域の橋梁の予防保全を行っていくことは可能なのか

7 環境施策について

(1) 本市では、小学校4年生からの授業で使う、小学生環境学習副読本「わたしたちのくらしとかんきょう」を作成し配付しているが、環境

に関する学習の範囲をさらに低学年にも広げてはどうか、また、雄物川上流域の市町村と連携し、雄物川水系を一体とした学習の機会を設けるべきと考えるがどうか

(2) 道路に投棄されるごみは、年数回の一斉清掃でのクリーンアップでは解決できるものではないため、予防策やごみ発見時の対応を強化すべきではないか

(3) 秋田県空き缶等の散乱の防止に関する条例第13条で規定されている、県と市町村との協力について、本市としてどう考えているのか

## 8 地域の諸課題について

(1) 秋田市雄和ふるさと温泉「ユアシス」について、施設・設備の老朽化が著しいことから、改修時期を令和7年度よりも早める考えはないか

(2) 秋田市立雄和小学校・雄和中学校学区における安全な通学路の確保について

ア 県道9号秋田雄和本荘線を曲がってから同校までの通学路については、交通事故の防止や除雪時の歩道の確保のため、縁石などで車道と歩道を区分すべきではないか

イ 同通学路において、冬期間における吹きだまりの軽減のため、防雪柵を設置すべきと考えるがどうか



## 1 本市のまちづくりについて

- (1) これまで一貫して本市が目指すコンパクトシティと相入れないとして否定してきた民間事業者による外旭川地区のまちづくりについて、外旭川地区まちづくり事業パートナーを募集するという形で容認する方向に転換したが、秋田市立地適正化計画における都市機能誘導区域外に新たな集客施設を建設することにより、同計画と矛盾が生じるのではないか
- (2) 現卸売市場敷地及びその周辺をまちづくりのモデル地区としているが、人が住むことを想定していない「まち」が、将来に向けたまちづくりのモデル地区になり得るのか
- (3) 同地区のまちづくりについては、同計画におけるコンパクトシティの考えと整合性が取れないと考えられるため、再考すべきではないか

## 2 市民の芸術文化活動について

- (1) 第14次秋田市総合計画基本構想の将来都市像「人と文化をはぐくむ誇れるまち」において、「市民が自主的な芸術文化活動に親しむことができる環境づくりを進める」としているにもかかわらず、あきた芸術劇場の整備に伴い、県民会館を閉館し、市文化会館を用途廃止することによりホール数や客席数を減らすことは、その趣旨に反するのではないか
- (2) 市民が自主的な芸術文化活動に親しむことができる環境をつくるため、中心市街地に小規模な多目的ホールを新たに建設することを検討すべきではないか

## 3 伝統的工芸品月間国民会議全国大会（工芸エキスポ）について

- (1) 令和4年度に同大会が本市で開催され、全国から工芸品に関心のあ
- る多数の来場者が訪れることから、人間国宝の工芸作家である関谷四郎の記念室がある秋田市赤れんが郷土館において、本市の工芸品に係

る常設展示を充実させてはどうか

- (2) 同大会に訪れる県外客を歓迎するためには、受け入れる側の秋田市民にも工芸品への理解が必要であることから、戦後から今に至る本市工芸の歴史や工芸品について、市民が学ぶための講演会や展示会などのイベントを開催してはどうか

#### 4 まちなか観光案内所について

- (1) 観光客の利便性を図るため、同案内所にレンタサイクルを用意してはどうか
- (2) 同案内所の近隣には、古く趣のある建築物を活用した店舗があることから、周辺の関係者の協力を得ながら、丸形の郵便ポストを設置したり、油谷これくしょんのホーロー看板を飾るなどして、SNS映えするレトロ横丁として売り出すといった演出を行う考えはないか

#### 5 不登校児童生徒への対応及び支援について

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大による生活環境の変化が引き金になって不登校になった児童生徒がいると報道されているが、本市における不登校児童生徒数の推移はどうか、また、不登校児童生徒に対し、具体的にどのような対応をしているのか
- (2) 生活に困窮している家庭の児童生徒が不登校になった場合、フリースクールを利用する際の費用補助を行う考えはないか
- (3) 不登校児童生徒の健康状態を把握するため、学校外でも健康診断を無料で受診できるようにすべきと考えるが、その実態はどうか

#### 6 市立図書館について

- (1) 利用者ニーズを把握した上で、図書購入費の増額を検討する考えはないか
- (2) 秋田公立美術大学に隣接した新屋図書館に美術、デザイン、工芸、写真など芸術に関連した専門書を多く備えることにより、同大学附属図書館の蔵書の不足を補うとともに、芸術に関心を持つ市民や中高生、

他大学の学生にも、美術大学のある町の芸術分野の蔵書が充実した図書館として利用を呼びかけることができると考えるがどうか

- (3) 図書館は、子供から高齢者まで幅広い世代の市民が利用し、にぎわい創出にも大きく貢献できる施設であり、例えば、中央図書館明徳館は隣接する秋田市文化創造館と連携した利活用策を講じることも可能であることから、観光文化スポーツ部等市長部局への移管を検討すべきではないか



## 1 新スタジアムの整備について

- (1) 平成30年度に開催された新スタジアム整備構想策定協議会において、スタジアムに関しては、指定管理者制度などを活用した公設民営が望ましいという多くの意見があり、結果として、整備に関しては基本的に行政主導という結論を受けた中で、今後実施予定の公募では、民間主導という条件に至った経緯はどうか
- (2) 民間が建設した施設に防災機能を備えることに問題はないか、また、その場合には、国からの防災関係の補助金の充当は可能なのか
- (3) 民間主導という条件の中で、資金調達、設計・建設、運営・管理、施設所有及び修繕に関して、行政の関与はどの程度となるのか

## 2 秋田市地球温暖化対策実行計画について

- (1) 今年10月22日の国の地球温暖化対策計画変更の閣議決定では、温室効果ガスの削減目標が示されたが、それを受け、本市では同計画の改定を行わないのか
- (2) 企業の売上げなどの財務指標だけではなく、環境、社会、企業統治、いわゆるESGへの取組を評価し、脱炭素社会への取組が企業の価値判断の材料に使われるような時代が到来したが、企業の脱炭素へ向けた取組の実績と効果を本市では把握しているのか、また、その取組への支援を強化していく考えはないか
- (3) 今年6月の同計画の見直しでは、これまでの「緩和策」の取組をより充実させるとともに、気候変動による影響を計画的に回避・軽減するための「適応策」を同計画へ新たに盛り込んでいるが、脱炭素社会の実現に向け、今後、本市の地球温暖化対策をどのように推進していくのか

## 3 秋田市地域防災計画について

- (1) 水害ハザードマップは、現行の洪水ハザードマップを現在の状況と

合致させ、ホームページの画像も鮮明にして詳細が確認できるよう更新するのか、また、誘導掲示板についても見直し、更新及び設置を拡大する考えはないか

(2) 災害時に避難所などでの災害用トイレとして、マンホールトイレを整備する考えはないか

#### 4 自殺対策について

(1) 本市と秋田大学自殺予防総合研究センターは、今後、どのように連携して事業を推進していくのか

(2) 今年6月23日付文部科学省初等中等教育局児童生徒課長通知を受け、全児童生徒に配付しているタブレット端末を活用して、悩みや不安を抱える児童生徒を早期に発見して、自殺対策につなげる考えはないか

#### 5 精神保健福祉について

(1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第22条から第26条の3までに基づく通報等の件数と同法第29条に基づき措置入院の状況について、どのように推移しているのか

(2) 精神保健指定医による診察や措置入院などのための移送の際には、患者の人権にどのように配慮しているのか、また、同行する職員の安全はどのように確保されているのか

(3) 今年4月の県からの権限移譲を受け、体制の充実をどのように図っていくのか、また、今後、県との連携をどのように進めていくのか

(4) 措置入院者の退院後のケア及び家族の支援について、混乱なく円滑に行うための体制をどのように整えているのか

1 民生委員・児童委員の担い手不足と負担軽減について

- (1) 本市の民生委員・児童委員の担い手不足の現状をどう捉え、これに対する解消策をどのように考えているのか
- (2) 各地区民生児童委員協議会会長及び各委員の負担軽減について、本市として、これまでの対応をどう評価しているのか、また、今後の対策をどのように取り組んでいくのか

2 仁井田浄水場等整備事業及び地元企業の振興について

- (1) 令和3年8月24日に市議会議長に対して提出された陳情「仁井田浄水場等整備事業の地元建設企業への発注について」が全会一致で採択となったことに対する市長の率直な見解はどうか
- (2) 令和3年9月30日に市長に対して提出された要望書への回答において、「市内企業の最大限の活用による地域経済の活性化と地元建設業の振興」とあるが、将来にわたり地域経済の活性化に資する取組を促進するため、具体的にどのようなことを実施したいと考えているのか
- (3) 地元企業の振興には、発注者と受注者がそれぞれの責務を果たしつつ相互に連携していくことが肝要であり、いわゆる中央大手企業よりもその重要性は高いと考えるが、今後どのように進めていく考えなのか

3 古川及び猿田川流域の治水対策について

- (1) 災害対策用排水ポンプ車による排水について
  - ア 今年5月に実施した排水訓練から得られた課題や今後の改善すべき点は何か、また、排水訓練を定期的にも実施する考えはないか
  - イ どのような状況であれば排水ポンプ車が稼働可能となり、市内ではどのような場所での稼働を想定しているのか、また、それらを市民へ分かりやすく説明する機会が必要と考えるがどうか
- (2) 古川流域の総合的な治水対策について

ア 古川流域の総合的な治水対策事業について、地域住民に対し、その進捗状況を周知する必要があると考えるかどうか

イ 古川流域の総合的な治水対策として決定した各行政機関の整備項目や整備スケジュールに変更はないか

(3) 河川防災ステーションについて

ア 古川流域の総合的な治水対策協議会の検討項目に、同ステーションの建設を取り入れて検討を進める考えはないか、また、他市と同様に、本市が防災活動を含めた総合的な拠点施設として整備する考えはないか

(4) 水害ハザードマップについて

ア 内水氾濫による浸水被害を含めた水害ハザードマップについて、現在の進捗状況はどのようになっているのか、また、作成に当たってどのような工夫をしているのか、さらに、完成後の周知方法と地域住民への説明機会の提供について、より効果的な防災対策を進める上で、どのように考えているのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 市として、市民から要望のある国民健康保険税の18歳以下の子供の均等割を全額無料にする考えはないか
- (2) 卸売市場の再整備は、外旭川地区まちづくり事業の核とせず、単独で建設に着手すべきと考えるがどうか

2 新型コロナウイルスワクチン接種について

- (1) 接種を希望しながら未接種となっている方への接種をどのように保障し、進めていくのか、また、自らの意思で接種をしていない方に対し、理解と納得が得られるように努め、接種を行うよう働きかけるべきではないか
- (2) 高齢者への3回目のワクチン接種は、日時や会場を指定し、実施できるようにすべきではないか、また、接種会場への移動手段を確保すべきと考えるがどうか

3 農業施策について

(1) 稲作等について

- ア 市長は、米価暴落が、農家にとって大きな打撃となることをどのように捉えているか、また、米価暴落時の収入補てんをすべきではないか
- イ もみ殻や稲わらの利活用の方法について研究を行い、利活用を促進すべきではないか
- ウ 米を原料としたこうじ、ぬか、米粉等を使用した加工品を商品化する取組を行う事業者に対して、助成すべきではないか

(2) 地産地消と6次産業化の促進について

- ア 生産地と消費地が近接している環境を生かし、加工所を併設した直売所を設置する事業者に対し、助成すべきではないか
- イ 秋田市産野菜の地産地消を推進するため、さらにPRを行うべき

ではないか

(3) 秋田市園芸振興センターについて

ア 同センターの設置目的と照らし合わせた成果や同センターが本市の園芸農業において果たしてきた役割を検証し、今後の取組に生かすべきではないか

イ 新規就農研修のカリキュラムは、研修生のニーズに応じ、柔軟に対応できるようにしてはどうか、また、研修生が農業用機械を適宜使用できるよう増設すべきではないか

ウ 研修生が、修了後に就農する際の農地取得等について、相談できるようにすべきではないか

(4) 市民の農業への理解を深め、技術支援ができるよう相談員を配置する考えはないか

4 健康寿命日本一を目指すための施策について

(1) 高齢者の健康維持について

ア 健康寿命日本一を目指す秋田県の県都として、健康寿命を延伸するための課題をどのように捉え、今後の取組を行っていくのか

イ 身近な場所で、市民が、気軽に運動などができる機会を増やしてはどうか、また、各老人いこいの家や各市民サービスセンターに健康器具などを設置し、介護予防施策のさらなる充実を図るべきではないか

ウ 民間事業者が行う健康教室などに参加する市民に対し、費用を助成する考えはないか

(2) がん検診、特定健康診査及び健康診査の受診率を高め、早期発見ができるよう、さらなる取組が必要と考えるがどうか

(3) 秋田市の3大死因の一つである脳卒中の予防には、減塩が効果的であるが、市として、市民の減塩意識の普及・啓発はどのように行ってきたのか、また、今後の取組はどうか

(4) 後期高齢者の医療費の窓口負担2割化は高齢者の暮らしと命、健康、人権を守る上で大きな影響を及ぼすことから、国に中止を求めるべき

ではないか

## 5 ジェンダー平等社会について

- (1) ジェンダー平等社会という言葉が世界的に広がってきたことを、市長はどのように受け止めているか、また、今後、市民の理解や意識を高めるための施策を進めていく必要があると考えるがどうか
- (2) 市長公約にあるLGBTQ（性的マイノリティ）のパートナーシップ制度はいつ導入するのか
- (3) 性の多様性について、市職員や教職員への研修を行うとともに、市民の相談に対応する窓口を設置すべきではないか

## 6 環境施策について

### (1) 地球温暖化対策について

- ア 環境立市をいち早く宣言してきた秋田市として、早急に地球温暖化対策に取り組む必要があると思うが、どのように考えているのか
- イ 環境への負荷の低減に向け、市営住宅の断熱リフォームを計画的に行う考えはないか、また、民間住宅や一般住宅が断熱リフォームを行う際の費用を助成すべきと考えるがどうか
- ウ 住宅用太陽光発電システム設置費補助金の補助金額を増額すべきではないか、また、太陽熱温水器を設置する際の費用を助成すべきではないか

### (2) 家庭ごみについて

- ア 平成24年7月の家庭ごみ有料化から約10年が経過し、有料化の目的は、減量のための動機づけとしてきたが、その効果をどのように捉えているのか、また、当初の目標値を達成したことから、有料化の見直しをすべきではないか
- イ 国は、プラスチックごみの分別回収を促進する方針であることから、市としても、早急に無料で回収すべきではないか

## 7 原油価格高騰への対策について

(1) なりわい、福祉施設、市民生活等に影響が出ていることから、市として適切な対策を取るべきではないか

8 生活保護受給世帯への教育支援について

(1) 高等学校等の生徒の必要な教材等について、市として、独自の支援を行うべきではないか

1 市民生活の安全・安心について

(1) 「脱コロナ・コロナ禍突破」の総力戦について

ア 感染の次なる波に備えた保健・医療提供体制の構えは万全か

イ 秋田港入港船舶における新型コロナウイルス感染症水際対策は、  
どのように行われているのか

ウ コロナ禍出口戦略について

(ア) 本市経済の正常化・活性化を図るためのコロナ禍出口戦略を考  
える時期に来ていると思うがどうか、また、それをどのように描  
き、どのように実行すべきと考えているのか

(イ) 竿燈まつりなどの伝統行事・ビッグイベントとコロナ対策との  
両立の在り方について、どのように考えているのか

(2) 安定的な財政運営について

ア 前年度決算に係る審査・評価結果を当該年度の予算執行及び翌年  
度予算編成にどのように反映させているのか

イ 本年6月策定の秋田市中・長期財政見通しについて、どのような  
視点で財政検証を行い、どのように総括しているのか、また、財政  
の健全性を確保していくためには、今後、どのような財政運営を心  
がけるべきと考えているのか

(3) 災害からの安全・安心について

ア 激甚化・頻発化する気候危機時代の自然災害の実相を踏まえた防  
災対策の見直しは万全か

イ 自主防災組織活動の活性化に向けた取組には、さらなる工夫・強  
化が必要と考えるがどうか

(4) 情報格差の解消について

ア 「誰一人取り残さない」「人に優しいデジタル化」社会の実現を  
図るため、デジタル・デバイドの解消策をどのように進めていくの  
か

(5) 安全・安心の生活環境について

ア 安全・安心の地域づくりを図るため、県警並びに本市及び都市内地域分権組織との間における重層的な連携・協働活動の強化・促進に向け、取り組んではどうか

イ 本市による防犯カメラ及び見守りカメラの設置状況はどうか、また、当該カメラの設置に関する方針やガイドラインを設定するとともに、町内会、商店街等が実施する当該カメラの設置事業に対する助成制度を創設してはどうか

(6) 地球温暖化対策について

ア 改正地球温暖化対策推進法の趣旨を踏まえ、本市は地域における脱炭素化の進展に向けて、どのように取り組んでいくのか

イ 第6次エネルギー基本計画に盛り込まれたエネルギーミックスに対する本市の認識はどうか、また、再生可能エネルギーの導入促進に向け、どのように取り組んでいくのか

(7) 若年層に安心の雇用環境について

ア 若年層の地元定着の重要性に鑑み、強い危機感のもと、雇用創出等に関わるこれまでの施策体系及び事業を発展的に見直し、基本的な事業は継続・徹底を図りつつも、改革の視点と創意工夫によって、魅力ある若年層の仕事・雇用機会の創出につながるインパクトある施策を立案・展開してはどうか

(8) 学校の安全・安心について

ア 文部科学省における学校施設バリアフリー化推進指針の改訂を踏まえ、小中学校のバリアフリー化の推進に向けてどのように取り組んでいくのか

イ 児童生徒の不登校の現状はどうか、また、その予防・解決とともに、子供の安心の居場所づくりを図るため、どのように取り組んでいくのか

(9) 安全・安心の公共施設について

ア 秋田市立体育館における建物修繕・改修の経緯及び施設の現状と課題はどうか、また、今後、どのような維持保全を図っていくべきと考えているのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 実効性のある最優先人口減少対策はどうか
- (2) 定例記者会見は市長説明の内容も含め、会期初日に行うべきではないのか

2 まちづくり・人づくりについて

- (1) 未来の秋田市の姿をどのように想定してまちづくりを考えているのか
- (2) 市役所内の「人づくり」と庁内人事における市長の最大のこだわりは何か
- (3) 外旭川のまちづくりに「美味しいまち」を盛り込んではどうか

3 財政関連について

- (1) 収入未済額と不納欠損額の傾向とその対策についてはどうか
- (2) 市債に対する今後の対処はどうか
- (3) 本市の資金を管理している県外5銀行との取引は終了してもよいのではないか
- (4) 本市の住民1人当たりの市債残高をどう捉えているのか

4 市民の健康について

- (1) ヘリコバクターピロリ菌の除菌により胃がん対策を目指すべきではないか
- (2) 統合医療の観点を取り入れた市民の健康づくりに取り組むべきではないか

5 交流人口について

- (1) グランピング施設やクライנגルテン施設を主導すべきではないか

## 6 農業施策等について

- (1) 農業人口の減少により耕作放棄地が拡大しているが、担い手への農地引継ぎはどうか
- (2) カントリーエレベーターから排出されるもみ殻などの残渣を含む「かぬか」を総合環境センターで処理すべきではないか

## 7 上下水道施策について

- (1) 下水道施設の改築への国費支援の確保について、本市として国に要望しているが、さらに同じことを県に国への働きかけの要望をする理由は何か
- (2) 国からの財政支援をどの程度見込んで仁井田浄水場等整備事業に着手したのか
- (3) 仁井田浄水場更新後の事業運営主体及びその運営方針はどうか

## 8 史跡等について

- (1) 本市の史跡等を一堂にして考古するスペースが必要と思うがどうか、また、本市ホームページ等で史跡等を積極的にPRすべきではないか

## 9 佐竹史料館について

- (1) 新史料館は佐竹氏とゆかりのある関係とどのようにコラボレーションするのか
- (2) なぜ佐竹氏専門の史料館が必要なのか、その他の歴史史料館についての考えはどうか

## 10 秋田市のビジュアル系PRについて

- (1) 新景観マップは部局横断的に制作すべきではないか
- (2) 秋田市公式インスタグラム写真展は写真を大きくし、市民ホールにも展示すべきではないか

## 11 草間彌生美術品について

(1) 草間彌生美術館を誘致すべきではないか

12 地域の諸課題について

(1) 飯島小学校へのスクールバスの運行について大丈夫なのか

(2) 秋田北中学校と金足西幼稚園は残すべきではないか



## 1 市政経営に対する市長の基本姿勢について

(1) 県都『あきた』創生プラン及び市長公約について、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、厳しい財政運営を強いられることが予想されるが、実現は可能と考えているのか

(2) 人口減少対策について

ア 婚姻数・出生数を増やすためのさらなる取組をどのように行っていくのか

イ 進学や就職による高校生や大学生の県外流出を防ぐため、より実効性のある取組をすべきと考えるがどうか

(3) 外旭川地区のまちづくりについて

ア 民間の発想、投資などの提案の公募については、整備条件を含めて自由な発想で提案を受けると思うがどうか

イ 本市は、提案者からの提案を受けた後、整備までの具体的なスケジュールを作成することとしているが、スピード感をもって整備を進めていくべきと考えるがどうか

## 2 令和4年度当初予算編成等について

(1) 創生戦略事業における予算額については、令和3年度一般財源ベースで10%の削減を基本としているが、実際に各取組・事業の実施に影響はないのか

(2) 創生戦略事業以外の政策経費や経常経費については、毎年予算額が削減されており、市民サービスの維持が困難であると考えているが、サービスの維持に影響がないと考える根拠は何か

## 3 仁井田浄水場等整備事業について

(1) 同浄水場の更新に関するコンセプトをどのように具体化するのか、また、整備完了による効果はどうか

(2) 本市経済の活性化を図る観点から事業を進めていくべきと考えるが

どうか

(3) 同事業の今後のスケジュールはどうか

#### 4 図書館の今後の在り方について

(1) 他都市と比較して、本市図書館の強みは何か、また、課題についてどのように認識しているのか

(2) 近年、利用者の利用目的や利用形態が変化していることから、今後、新たな役割が求められていると考えるがどうか

(3) 中央図書館明德館は、築40年を経過しようとしているが、改築を含めた将来像をどのように描いていくのか、また、施設の複合化も見据え、フォンテA K I T Aなどへの移転を検討してはどうか

#### 5 観光施策について

(1) 国内外に本市の魅力をPRするため、質の高い映像媒体を制作すべきと考えるがどうか

(2) 観光施設において、季節ごとのライトアップを推進し、本市の魅力向上を図るべきと考えるがどうか

(3) 雪を観光資源として捉え、川反・大町地区及び秋田駅周辺の飲食店とタイアップし、雪と食の豊かさを生かした冬季の観光を推進すべきと考えるがどうか

(4) 秋田市観光振興ビジョンを策定すべきと考えるがどうか

#### 6 農山村資源を活用した取組について

(1) 第2次秋田市都市農村交流マスタープランの策定に向けた背景は何か

(2) 地域未来投資促進法に基づく本市基本計画の特徴は何か、また、同計画の策定により、どのような優遇措置が受けられるのか

#### 7 教育行政について

(1) 文部科学省が今年10月に「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校

等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果を公表したが、本市のいじめの結果はどうであったのか、また、今後の対応についてどのように行っていくのか

(2) 本市の児童生徒におけるSNSやインターネットの利用実態はどうか、また、それらの利用による課題及びその対応はどうか

(3) 児童生徒に配付しているタブレット端末について、児童生徒の不正なアクセスや誹謗中傷の書き込みなどのトラブルは発生しているのか、また、そのようなトラブルが発生しないための対策をどのように行っているのか

## 8 スポーツ施策について

(1) 第4次秋田市スポーツ振興マスタープランの策定に当たり、どのような点を変更するのか、また、推進するための新たな取組は何か

(2) スポーツ施設の整備について

ア 県立体育館の改修工事が長期間と想定されるが、市民や競技団体に影響が及ばないよう、県と早期改修も含めて協議すべきと考えるがどうか

イ 県と連携してアリーナ建設計画を検討すべきと考えるがどうか